

## 東京都立産業技術高等専門学校 研究紀要論文投稿規定

### 1. 研究紀要の構成

東京都立産業技術高等専門学校研究紀要（以下 研究紀要と略する。）は、投稿論文、当該年度研究活動等に関する調査、および当該年度研究概要をもって構成する。

### 2. 研究紀要の発刊

研究紀要は教職員の研究成果等の発表の場として、原則として年1回発刊するものとする。

### 3. 投稿論文

#### 3.1 投稿資格

- ①本校教職員およびその共同研究者。
- ②校長（又は担当校長）が認めた者。

投稿資格は、上記①、②のいずれかの資格条件を満たす者とする。

#### 3.2 投稿原稿の掲載区分

- ①研究論文：未発表の創造的内容・見解を含む論文。
- ②研究報告・研究速報：研究論文の一部を構成する内容を有するもの。研究の中間報告。内容面に独創性があり、速報の必要性の高いもの。これらいずれかに該当する論文。
- ③研究ノート：独創性はないが、進行中の研究のまとめとして必要と考えられるノートおよび記録。
- ④研究技術資料：客観的な資料紹介。教育・研究を補完する小規模実験装置等の作成資料。
- ⑤調査報告：教育・研究に関するデータをもとに分析を行った報告。
- ⑥レビュー：専門分野に関する研究動態等に関する総合的な報告および記録。
- ⑦文献紹介・原典翻訳：専門分野において重要度の高い海外・国内の文献の詳細ならびに原典等の試訳的なもの。ただし、著者の承諾が必要な場合、その承諾手続きをすでに経ているもの。
- ⑧特集：校長（又は担当校長）が決定した特集記事、研究論文および研究報告。

投稿原稿の掲載区分は上記8区分とし、⑧を除いて、上記①から⑦の掲載区分の選択は、投稿希望者の良心的裁量に任せるものとする。

#### 3.3 投稿論文の査読

原則として、投稿論文の査読は、校長（又は担当校長）が決定した査読者（本校教員）が行うものとする。ただし、投稿希望者が学外者に査読を依頼する場合、これを認める。校長（又は担当校長）は査読者に査読結果の報告を求め、投稿論文の研究紀要掲載の採否を決定する。また、掲載決定月日をもって、原稿受理日とする。

## 原稿の書式

様式(1-1) : A4 版本文横書き 2 段組和文原稿用、

様式(1-2) : A4 版本文横書き 2 段組英文原稿用、

様式(2-1) : A4 版本文横書き 1 段組和文原稿用、

様式(2-2) : A4 版本文横書き 1 段組英文原稿用、

### a. 原稿の制限

- ・ 投稿原稿の長さは、1 件あたり原則として刷り上がり時15頁以内とする。

### b. タイトル、abstract

- ・ 様式(1-1)および様式(2-1)の場合、本文に先立って、和文論文タイトル、英文論文タイトル、著者名、英文著者名(フルネーム)、200 words程度の英文(Abstract)あるいは、300字程度の和文要旨、および英文あるいは、和文によるキーワード(5 単語程度)を記載する。

### c. フォント

(フォントについては、別紙使用フォント表および原稿例を参照のこと。)

- ・ 様式(1-1)および様式(2-1)の場合、本文内容の記載には、句読点には「、」を用い、句点には「。」を用いる。

### d. 英文の場合

- ・ 様式(1-2)および様式(2-2)の場合、本文の記載にあつては、すべてTime New Romany等の半角・英文用フォントを用いる。
- ・ 様式(1-1)、様式(1-2)、様式(2-1)および様式(2-2)の場合、

### e. 数字

- ・ 数字の記載には、原則としてすべて半角アラビア数字を用いる。
- ・ 様式(1-1)、様式(1-2)、様式(2-1)および様式(2-2)の場合、脚注に著者の所属を明記する。また、連名の場合は、著者の所属毎に氏名の右肩に“( )”片括弧付き数字を記し、同数字に対応した所属名を脚注に記載するものとする。

### f. 和文の場合

- ・ 様式(3)の場合、本文に先立って、和文著者名、300字程度の和文要旨を記載する。(フォントについては、別紙使用フォント表および原稿例を参照のこと。)
- ・ 様式(3)の場合、本文内容の記載には、句読点には「、」を用い、句点には「。」を用いる。
- ・ 様式(3)の場合、文末に“( )”括弧付きで著者の所属を明記する。

### g. 図、写真、表について

- ・ 図、写真、表のページ割付は著者自身が行うものとする。
- ・ 図・写真のタイトルおよび説明は同図下に記し、表のタイトルおよび説明は同表上に記し、いずれも連番号を明記する。

### h. 参考文献

- ・ 様式(1-1)、様式(1-2)、様式(2-1)および様式(2-2)における参考文献の引用の仕方：本文中、引用箇所引用順に“□”鍵括弧付き数字による連番号を明記する。
- ・ 様式(3)における参考文献および注の引用の仕方：本文中、引用箇所に傍注を設け、引用順に“○”括弧付き数字による連番号を明記する。
- ・ 様式(1-1)、様式(1-2)、様式(2-1)および様式(2-2)における参考文献の記載書式：以下のように、著者名（あるいは編集者名、英文にあっては、名のイニシャルと姓名）、論文の表題、雑誌名（あるいは書籍名）、巻一、頁、発行年の順に記載する。また著者名は3名までとし、それ以上の場合は和文では「ほか」、英文では「et. al」とする。

（参考文献記載例）

- 1) 東京 太郎, 高専 次郎, 航空 三郎ほか：高専教育の実際, 高専学会, 15-1 (1998), pp.100-105, 1998
- 2) T. Tokyo, J. Kousen, S. Kouku, et., al., Study of Multimedia Education, J. Educational Society, 24-124 (1998)

[2] 航空 太郎編：自動制御理論, 丸善, pp100-150, 1990

- ・ 様式(3)における参考文献および注の記載書式：参考文献にあっては、縦書きで以下のように、著者名（あるいは編集者名、論文の表題、雑誌名（あるいは書籍名）、巻一、頁、発行年の順に記載する。また著者名は3名までとし、それ以上の場合は「ほか」とする。

（参考文献記載例）

- (1) 東京太郎、高専次郎、航空三郎ほか、『高専教育の実際』高専学会、十五ノ一、一九九八、百～百五頁
- (2) 航空 太郎編『古典文学大系』丸善、一九九〇、百～百五十頁  
注にあっては、“○”括弧付き数字に対応した内容について簡潔に記述する。